

【永光寺文書】 鹿島郡

二二二四

爲音信、青銅五拾疋到來、喜悅候。尙飯河若狹守可申候。恐々謹言。

三月十日

惠(畠山義經) 祐 在印

永光寺
永光寺(上書)

惠 祐

【天野文書】

二二二五

受領之事、可爲加賀守之旨被仰出候。可存知者也。謹言。

六月二日

義(畠山) 綱 在判

天野加賀守殿

【溫故足徵】

二二二六

官途之事可爲右衛門尉旨被仰出候。可存知者也。謹言。

六月十七日

義(畠山) 綱 在判

大形澤右衛門殿

【笠松文書】

二二二七

去四日澤野村百姓心替之處、以馳走屬本意候。無比類、殊被鑿疵五ヶ所候。神妙之程于今不始候。彌忠節簡要ニ候。猶飯川若狹守可申候。謹言。

正月六日

義(畠山) 綱 在判

笠松新介殿

【溫故足徵】

二二二八

今度相破候砌、笠松新介早速馳走候。殊種々馳走共神妙候。相當之壹所可申付候。彌可抽忠功由可申聞候。謹言。

十月十日

義(畠山) 綱 在判

飯川若狹守殿

【氣多神社文書】 羽咋郡

二二二九

恐々謹言。

卯月廿八日

畠山修理大夫也
義 綱 在判

平井加賀入道殿

(平井加賀入道は六角氏の被官なり。)

【永光寺文書】 鹿島郡

二二三〇

爲音信、卷數并青銅貳百疋到來、祝着候。萬端出馬刻、猶飯川若狹守可申候。恐々謹言。

三月十日

義(畠山) 綱 在判

永光寺

永光寺(上書)

義 綱

【氣多神社文書】 羽咋郡

二二三三

爲祈禱卷數并青銅貳百疋到來、每度懇意祝着候。彌於神前祈念肝要候。尙佐脇美濃守可申候。恐々謹言。

十月十九日

義(畠山) 綱 在判

一宮惣中

爲氣多大神宮造營社務立用并禁裏様に進納分三千疋、大館彌三郎分四千疋、都合七千疋令寄附候。於堂塔破壞者、一社堅可申付候。不可有油斷之狀如件。

二月三日

義(畠山) 綱 在判

【上杉家文書】

二二三〇

急度以飛脚令申候。其表彌々屬御存分義坏重候。仍雖、可爲御無心候、乘心可然馬一疋所望候。御同意可爲祝着候。恐々謹言。

修理大夫(畠山)

義 綱 在判

六月十日
謹上 上杉殿(細虎)

【秋藩閱録】

二二三三

爲使僧聽江軒下國祝著候。爰許數年亂後不如意、沙汰限候程失面目候。每事被對談候條、委細見聞事ニ候。向後者彼仁下向候様ニ、各馳走憑入候。猶遊佐美作守可申候。